



11月9日(金)から11月15日(木)まで「**秋季全国火災予防運動**」が実施されます。
火災は、ちょっとした不注意から起こっています。

中でも焚き火の拡大や、タバコからの出火事例が多く発生しています。火の取り扱いには十分注意してください。

消防本部では、火の用心7つのポイントを作成し、火災予防を呼びかけています。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント —3つの習慣・4つの対策—

3つの習慣

- 寝たばこは、絶対にやめる。
- ストーフは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器を設置しましょう。**
- 寝具や衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用しましょう。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置しましょう。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制を作りましょう。



住宅用火災警報器の点検とお手入れをしましょう

住宅用火災警報器は、電池が切れると作動しなくなしますので、ひもやボタンを押して、年2回を目安に時期を決め点検をしましょう。(電池が少なくなると音や光で知らせるものがあります。)

また、ホコリが入ると誤作動を起こす場合がありますので、定期的にお掃除を行いましょう。

全国統一防火標語

「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」